

マンションのキッズルームに 居場所をつくり、地域をつなぐ

独立行政法人福祉医療機構（WAM）が行

う社会福祉振興助成事業（WAM助成）は、
国庫補助金や寄付金を財源とし、高齢者・障
害者などが地域のつながりのなかで自立した
生活を送れるよう、NPOやボランティア団
体などが行う民間の創意工夫ある活動など
に対し、助成を行っています。

今号では、WAM助成を活用した特定非営
利活動法人ZEROキッズの取り組みを紹介
します。

こどものパワーで 地域をつなぎ文化をつくる

東京都中野区で活動する特定非営利活動法
人ZEROキッズは、「こどものパワーで地
域をつなぎ文化をつくる！」をコンセプトに、
子どもとアートの力で地域や人をつなげる活
動に取り組んでいる。

同法人の設立経緯は、平成6年に地域の少
年少女合唱団とママさんコーラスの団体が、中
野区民ホール「なかのZERO大ホール」での
公演をきっかけに任意団体を設立したことに
始まり、平成15年にNPO法人格を取得した。

現在の活動について、理事長の佐々木香氏
は次のように語る。

「当法人は、設立から現在に至るまで『想
像力と創造力』をテーマに、体験活動により
異年齢の仲間づくりを進める活動に取り組ん
できました。さまざまなジャンルの表現に触
れる機会として、『表現あそび』や『音あそび』、
『歌あそび』のほか、ダンスや演劇、自然体
験などのワークショップを行い、それらの活
動の集大成として、台本から衣装までを子ど
もたちと一緒に創りあげる創作ミュージカル
を公演してきました。子どもたちのもつ力を
大切に育みながら、さまざま表現活動や体験
活動の中から自分の好きなこと、自分を表現
する方法をみつけてもらうことを目指してい
ます」（以下、「」中は佐々木理事長の説明）。

地域をつなぐ 居場所づくりの取り組み

同法人は、平成30年度のWAM助成を活用
し、「マンションと地域をつなぐ居場所づく
り事業」を実施した。
同事業は、民間マンションに設置されたキ

WAMから ひと言

マンションの入居者と地域の住
民をつなぐ居場所事業として、子
育て支援や多世代交流の拠点を作
りました。共働き世代も利用しや
すいよう、土日や18時まで開所
する等の工夫をされています。ま
た保護者に向けたプログラム「子
育てサロン」では栄養士や地元消
防署の消防士等の専門家による講
座を開催し、利用者のニーズに応
え、大きな成果につなげた事を高
く評価します。

ツズルームを地域の子育て支援と多世代交流
の拠点にすることを目的に、①運営会議の開
催、②乳幼児親子の居場所づくり、③子育て
支援や多世代交流に向けたイベント・プログ
ラムの開催を実施した。

事業を実施した経緯としては、中野区江古
田にある約4万㎡の敷地に「多世代により育
まれる持続可能な地域をつくる」ことをコン
セプトとした「江古田の杜プロジェクト」が
立ち上がり、積水ハウスグループ、総合東京
病院、独立行政法人都市再生機構の三者協働
によるまちづくりが進められ、平成30年9月
に「まちびらき」が行われた。

このまちづくりでは、総戸数531戸の分
譲マンションをはじめ、ファミリー層や学生
向けの賃貸マンション、サービス付き高齢者
向け住宅、介護付有料老人ホーム、保育所、
学童クラブ、コンビニエンスストアなどを整
備。江古田の森公園に隣接し、周辺には病院
や高齢者・障害者の施設が多数あるなど、都
心でありながら豊かな自然と生活の利便性を
兼ね備えた環境となっている。





キッズルームと絵本ライブラリーを併設した乳幼児親子の居場所「もりのいえ」



居場所にはテラスを設置し、子どもたちの遊びやイベントなどに活用される

同法人は、マンション敷地内にある地域交流スペース「リブインラボ」に設置されたキッズルームと絵本ライブラリーの運営とエリアマネジメントを担うことになり、キッズルームを乳幼児親子の居場所「もりのいえ」として運営し、地域の子育て支援、多世代交流の拠点となることを目指した。

居場所の開設に向け、よりよい居場所の運営とネットワーキングづくりを目的とした運営会

を多く用いて「木とふれあい、木に学び、木と生きる」という木育“という教育を意識

常設の乳幼児親子の居場所を開設

議を開催し、地域コミュニティや子育てに関する専門家から子育ての拠点に必要なノウハウやアドバイスを受けながら、安全管理のマニュアルを作成するとともに、地域の連携団体とイベントやプログラムの実施内容などについて検討した。

平成30年10月に開設した乳幼児親子の居場所「もりのいえ」は、水曜日を除く、10〜18時の時間帯に開所した。

しながら豊かな心が育む環境をつくっている。また、絵本ライブラリーの蔵書は500冊以上にのぼる。

スタッフは、社会福祉士や子育て経験のある2人を配置し、乳幼児親子が安心して利用できるように見守る体制とした。利用は登録制となり子どもや保護者の氏名、年齢、連絡先などを記入してもらい、スタッフが厳重に個人情報管理している。

また、子どもは利用の際に、スタッフが手作りした名札をつけることをルールとしており、互いの子ども名前を覚えることができ、交流しやすいと保護者から好評であったという。

事業概要

助成額
246万3千円

平成30年度事業

特定非営利活動法人 ZERO キッズ

マンションと地域をつなぐ居場所づくり事業

【事業概要】

新たに開発された民間マンションのキッズルームを地域の子育て支援と多世代交流の拠点とすることを目的に、乳幼児親子を対象にした常設の居場所を運営するとともに、地域交流イベントや子育て、教育などの各種プログラムを実施する事業



【実施内容】

◆運営会議の開催

よりよい居場所の運営に向けた検討を行うとともに、イベントや各種プログラムの実施で連携する関係者とのネットワーキングを行う

◆乳幼児親子の居場所づくり

乳幼児親子を対象にした安全・安心な居場所「もりのいえ」を運営し、地域の子育て支援の拠点になることを目指す

◆子育て支援や多世代交流に向けたイベント・プログラムの実施

「赤ちゃんおはなし会」や、「音あそび」、「歌あそび・表現あそび」、「子育てサロン」などのプログラムのほか、地域住民を招いた「季節のコンサート」を定期的開催



◆情報の収集と発信

ホームページやSNSを活用し、居場所の活動の様子がわかる動画やイベント・プログラムの情報を発信

【成果】

◆平成30年10月～31年3月の期間に、乳幼児親子を対象にした居場所は計148回開催し、延べ7084人（2096組の親子）が利用した

居場所は、土・日曜日も開所しているため、母親だけではなく父親や家族での利用も多く、利用者のうち3割がマンションの入居者、7割が近隣住民となっており、地域の居場所として浸透していることがうかがえた

◆各種イベント・プログラムの実施

には、毎回多くの参加者が集まり、子育てや教育の不安解消に役立った。さらに、活動を通して新たにマンションに入居した家族同士の交流が進んだほか、多世代交流を含めて地域とつながるきっかけにもなった



◆助成事業で実施した地域をつなぐ居場所づくりを含む、「江古田の杜プロジェクト」のコンセプトは、新しいモデルとして行政やデベロッパーなどに注目され、全国から視察が相次いでいる



助成事業期間中（平成30年10月から31年3月末）の「もりのいえ」の利用実績は、計148回開催し、延べ7084人（子育て親子2096組）にのぼる。

利用者のうち、3割がマンシヨンの入居者、7割が近隣住民となっており、マンシヨンの入居者だけでなく、地域の子育て中の親子の居場所として浸透していることがうかがえた。

「地域に開かれた乳幼児親子の居場所」としてSNSを活用した情報発信に力を入れたことや口コミにより利用が広がりました。土・日曜日も開所しているので母親だけでなく、父親や家族で利用されたり、18時まで開所しているため、敷地内の保育所へのお迎えの帰りに利用されるケースも多くなっています。

多様な イベント・プログラムを開催

「もりのいえ」は、子育て支援や多世代交



乳幼児親子を対象にしたプログラムでは、絵本の読み聞かせを行う「赤ちゃんおはなし会」や、空き缶やペットボトルなど身近にある物を使って音を楽しむ「音あそび」などを実施した



流の拠点として、さまざまなイベントやプログラムを定期的に行っている。

乳幼児親子を対象にしたプログラムでは、絵本の読み聞かせや手遊びを行う「赤ちゃんおはなし会」を週1回（全25回、参加者延べ639人）、空き缶やペットボトルなど身近にある物を使って音を楽しむ、コミュニケーションをとりながら仲間づくりを行う「音あそび」を月2回（全7回、延べ180人）、季節行事を楽しむ「季節の工作」（延べ80人）などを実施した。

また、同法人がこれまで取り組んできた小中学生を対象にした歌やダンスなどの表現活動を「歌って踊ってZEROキッズ」として開催し、以前から活動している子どもに、地域の子どもたちを加えた延べ135人が活動に参加した。

さらに、地域交流のイベントとして、プロの音楽家を招いた「季節のコンサート」を定期的に開催し、「歌って踊ってZEROキッズ」に参加する子どもたちが一緒に出演している。

『もりのいえ』が入る建物の1階には、ピアノを設置した大人数を収容できる食堂・ラウンジがあり、そのスペースを活用してプロの音楽家による高いコンサートを開催しています。子どもと一緒に出演することで会

場の雰囲気や和やかになりますし、子どもたちにとってもプロの音楽家と一緒にステージに立つことは貴重な経験になっています。『季節のコンサート』は、地域住民からも好評で、毎回200人近くの来場者が集まります。

「子育てサロン」を開催し 子育てに役立つ情報を提供

保護者に向けたプログラムとしては、子育てに役立つ情報を提供する「子育てサロン」（全2回）を開催した。「子育てサロン」では、地域の保健師や管理栄養士から感染症予防や対処など「子どもの健康トラブル」について、地元消防署の消防士から乳幼児の誤飲や火傷の処置、AEDの使用方法など「乳幼児の応急手当」について学んだ。講座の終了後は、参加者の個別相談に専門職が対応する時間を設けた。

さらに、保護者を対象としたプログラムでは、子育て中の母親のストレス解消と健康維持を目的にした「子育てママのストレッチ&エクササイズ」や、子育て中の父親を支援して仲間づくりを進める「パパもあそぼう！」を定期的に開催した。父親を対象にしたプログラムでは、紙飛行機や紙鉄砲など父親が童心に返りながら、子どもと一緒に遊ぶ機会を提供し、父親同士のコミュニティが生まれるきっかけにもつながった。

そのほかにも、地域のことを知りながら、仲間づくりを進める「江古田散歩」を開催し、子育て中の親子から高齢者まで幅広い年齢層の参加があったという。



この著作物は著作権法、国際条約およびその他の知的財産権に関する法律や条約によって保護されています。版權者（独立行政法人福祉医療機構）ならびに著作権者の許可を得ない複製（コピー）、再配布を、固くお断わりいたします。

助成事業の成果として、マンションのキッズルームを地域の子育て支援、多世代交流の拠点として運営することにより、地域の居場所として浸透させることができた。

「マンションの入居者だけでなく、地域の居場所として認知されたことにより、半年で延べ2000組を超える利用があったことは大きな成果となりました。顔見知りが増え、イベントやプログラムの参加をきっかけに利用者同士や地域の交流が進むとともに、各種プログラムの参加者からは子育てや教育の不安解消にもつながったという声もいただいています。新たに住民になった子育て世帯と地域をつなぎ、地域コミュニティを活性化させることは災害時の備えや犯罪の抑止力にもつながると考えています」。

地域コミュニティの 活性化につながる



保護者を対象にした「子育てサロン」では、保健師や消防士を講師に招き、子どもの健康トラブルや応急手当などの知識、対処法などの情報を提供した



プロの音楽家と子どもが一緒に出演する「季節のコンサート」(全4回)には、毎回200人を超える地域住民が来場する

まちづくりの 新たなモデルとして注目される

特定非営利活動法人 ZERO キッズ

理事長・プロデューサー 佐々木 香氏



平成30年度のWAM助成では、マンションの入居者と地域をつなぐことを目標に居場所とイベント・プログラムを運営することにより、地域の居場所として認知されることができました。

この地域をつなぐ居場所づくりを含む、「江古田の杜プロジェクト」のコンセプトは、多世代が住み続けられる「まちづくり」の新しいモデルとして行政やデベロッパーなどに注目され、全国からの視察も多くなっています。民間マンションの中にある「もりのいえ」を一つのモデルとして、今後、企業が子育てや多世代交流を支援していくことが、さらに広がることを願っています。

◆団体概要

〒165-0022 中野区江古田3-14-1
プライムメゾン江古田の杜ウエスト2階
TEL / FAX : 03-3385-5111
URL : <https://zerokids.org/>
設立:平成6年1月
理事長:佐々木 香

ます。『季節のコンサート』については、子どもたちにリモートで各家庭のなかで撮影してもらい、編集した動画をYouTubeで配信して視聴してもらうかたちとしています。さらに、利用者からヨガやピアノ演奏、も

現在は新型コロナウイルス感染症の影響により、居場所の利用を1回当たり10組までに制限し、SNSでリアルタイムの利用状況を発信しているという。

「各種プログラムは、せっかく定着してきたところでしたので、オンラインで実施することで活動を継続していきます。『季節のコンサート』については、子どもたちにリモートで各家庭のなかで撮影してもらい、編集した動画をYouTubeで配信して視聴してもらうかたちとしています」。

さらに、利用者からヨガやピアノ演奏、も

のづくりなど、自分の特技を活かした活動をしたという要望があったことから、新たにヨガ教室などのプログラムもスタートしている。今後の展望としては、地域の高齢者や学生などに対して、自分の特技を活かして活躍できる場をつくり、地域住民が主体となった活動を応援していきたいとしている。

地域をつなぐ居場所づくりに取り組む同法人の活動が全国に広がることが期待される。



社会福祉振興助成事業に関するお問い合わせ

●NPO リソースセンター

NPO 支援課 (助成事業の相談・募集、NPO の融資相談等)

TEL : 03-3438-4756 FAX : 03-3438-0218 (共通)

NPO 振興課 (助成事業の広報、事業評価等)

TEL : 03-3438-9942 FAX : 03-3438-0218 (共通)

NPO等の民間福祉活動への
応援よろしくお祈いします!

当機構では
寄付金を募集
しています



お問合せ先: 03-3438-0211 (総務部総務課)

